



平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フュージョンパートナー
コード番号 4845 URL <http://www.fusion-partner.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榑野 憲克

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 呉 裕紀

TEL 03-6418-3898

四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	1,715	20.8	495	59.6	497	58.0	270	40.5
26年6月期第3四半期	1,420	8.6	310	29.2	314	23.8	192	34.9

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 293百万円 (53.1%) 26年6月期第3四半期 191百万円 (23.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	19.37	—
26年6月期第3四半期	13.78	—

(注)

当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首(平成25年7月1日)に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第3四半期	2,242	1,863	83.1	133.44
26年6月期	1,956	1,710	87.4	122.46

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 1,863百万円 26年6月期 1,710百万円

(注)

当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首(平成25年7月1日)に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	400.00	—	4.00	—
27年6月期	—	6.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)

当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首(平成25年7月1日)に当該株式分割が行われたと仮定した配当金の額につきましては、後述の「株式分割に伴う配当の状況の遡及修正」をご覧ください。

平成27年6月期年間配当金(予想)の内訳: 普通配当10円00銭、記念配当2円00銭

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,250	19.5	570	50.8	580	51.8	300	35.1	21.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成27年4月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期3Q	14,953,900 株	26年6月期	14,953,900 株
② 期末自己株式数	27年6月期3Q	986,341 株	26年6月期	986,300 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期3Q	13,967,566 株	26年6月期3Q	13,967,600 株

(注)
当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首(平成25年7月1日)に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

株式分割に伴う配当金の遡及修正

当社は、平成26年1月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首（平成25年7月1日）に当該株式分割が行われたと仮定した「配当の状況」は、下記の通りであります。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年6月期	—	6.00	—		
27年6月期（予想）				6.00	12.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当企業集団は、昨年12月1日に東京証券取引所市場第一部銘柄に指定され、更なる業容の拡大と企業価値の向上に努めております。

当第3四半期連結累計期間においては、SaaS/ASP事業の業績が好調に推移しており、その結果、売上高は1,715百万円(前年同期比20.8%増)となり、営業利益は495百万円(同59.6%増)、経常利益は497百万円(同58.0%増)となりました。

利益率の高い主力サービスの売上高の増加が寄与した結果、売上高営業利益率は28.9%となり、前第3四半期連結累計期間の21.9%に対して大幅に向上しております。

四半期純利益は、人事制度変更による一時費用(26百万円)や、東京証券取引所市場第一部銘柄指定に伴う費用(17百万円)が発生し、また法人税等の大幅な増加(155百万円、前年同期においては39百万円)等がありました。270百万円(同40.5%増)となりました。

当企業集団は、SaaS/ASP事業及びその他から構成されており、事業別の状況は以下の通りであります。

(SaaS/ASP事業)

SaaS/ASP事業につきましては、主力サービスである、サムネイル画像が表示されるサイト内検索サービス『i-search』の導入実績が順調に増加し、(株)中工務店、兼松エレクトロニクス(株)、多摩信用金庫、広島市、(株)南都銀行、日本メナード化粧品(株)等に、Webサイト上に掲載する「よくある質問(FAQ)」や社内情報の共有管理サービス『i-ask』は、(株)そんぼ24損害保険(株)、中部電力(株)、住信SBIネット銀行(株)、オリックス銀行(株)、(株)千葉銀行等に導入され、堅調にシェアを伸ばしております。

更に、総合アンケート・メールマーケティングサービス『i-entry』は、(株)シグマ等に、『IVR(自動音声応答)』サービスは、生命保険会社のCS調査業務や、百貨店向けのキャンペーンサービスに導入されました。

その他には、住宅設備機器メーカーにショールームの来館予約システムが導入され、損害保険会社には、海外旅行保険の販売システムが導入されました。

また、新たな事業ドメインの拡大として、IoT(Internet of Things:モノのインターネット)に関連するサービスとして、損害保険ジャパン日本興亜(株)が販売する自動車の安全運転支援サービスに、当企業集団のビッグデータの処理・管理システムが導入され、その運用を含めたサービスの提供を開始し、特に一時売上の増加に大きく寄与しました。

その結果、当事業における売上高は1,663百万円(同21.6%増)と順調に推移いたしました。

(その他)

基幹データベース管理システム『M204』の売上高は、大手金融機関向けの保守サービスを中心に52百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ285百万円増加し、2,242百万円となりました。

その主な要因は、投資有価証券の増加263百万円、受取手形及び売掛金の増加175百万円、現金及び現金同等物の減少118百万円及びのれんの償却による減少25百万円等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ132百万円増加し、378百万円となりました。

その主な要因は、未払法人税等の増加80百万円及び未払金の増加33百万円等によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ153百万円増加し、1,863百万円となりました。

その主な要因は、四半期純利益の計上による増加270百万円及び配当による減少139百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当企業集団の主力サービスである、サムネイル画像が表示されるサイト内検索サービス『i-search』や、Webサイト上に掲載する「よくある質問(FAQ)」や社内情報の共有管理サービス『i-ask』は堅調にシェアを伸ばし、ストック型ビジネスモデルにより売上高が毎月積み上げられ、累積的に増加しております。

特に、当期(平成27年6月期)においては、複数のSaaS/ASPサービスの同時導入による月額利用料の積み上げや、平成27年3月2日に発表いたしましたIoT(Internet of Things:モノのインターネット)技術を活用したビッグデータの処理・管理サービスの提供(※)を初めとする、顧客ニーズに合わせた新規サービス開発のカスタマイズ一時売上の増加等により、業績が好調に推移しております。

このため、売上高・営業利益・経常利益ともに、前回発表した業績予想を上方修正いたします。

ただし、今後更なる成長の加速のための人員増加と事業規模拡大のための事務所増床・移転、および自然災害等の発生やシステムの更なる安定稼働による信頼性向上のため、事業継続計画(BCP)に基づくバックアップデータセンターの強化を予定しております。

そのため、当期純利益につきましては、東京証券取引所市場第一部銘柄指定に伴う上場関連費用に加え、事務所増床・移転費用およびシステム強化に係る費用の発生を見込んでいるため、予想額の変更はありません。

※「損害保険ジャパン日本興亜株式会社の企業向け安全運転支援サービスへビッグデータの処理・管理サービスを提供」

<http://www.fusion-partner.jp/news/2015/20150302.html>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,087,168	1,018,832
受取手形及び売掛金	254,961	430,723
有価証券	100,026	50,033
仕掛品	1,190	3,159
その他	42,975	28,175
流動資産合計	1,486,322	1,530,924
固定資産		
有形固定資産	54,377	76,703
無形固定資産		
のれん	224,474	198,583
その他	30,451	26,132
無形固定資産合計	254,925	224,715
投資その他の資産		
投資有価証券	98,875	362,193
その他	62,165	47,808
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	161,000	409,961
固定資産合計	470,302	711,381
資産合計	1,956,625	2,242,305
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,706	53,886
未払法人税等	50,578	130,867
その他	152,405	173,174
流動負債合計	236,690	357,929
固定負債		
その他	9,499	20,510
固定負債合計	9,499	20,510
負債合計	246,189	378,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,011	1,133,011
資本剰余金	661,498	661,498
利益剰余金	191,641	322,534
自己株式	△297,678	△297,694
株主資本合計	1,688,472	1,819,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,962	44,516
その他の包括利益累計額合計	21,962	44,516
純資産合計	1,710,435	1,863,865
負債純資産合計	1,956,625	2,242,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,420,503	1,715,441
売上原価	551,961	659,935
売上総利益	868,541	1,055,505
販売費及び一般管理費	557,943	559,933
営業利益	310,598	495,572
営業外収益		
受取利息	198	269
受取配当金	3,000	3,000
その他	2,213	1,173
営業外収益合計	5,412	4,442
営業外費用		
支払利息	30	1
その他	1,113	2,514
営業外費用合計	1,143	2,515
経常利益	314,867	497,499
特別損失		
上場関連費用	—	17,547
人事制度変更による一時費用	—	26,930
役員退職慰労金	15,000	—
特別損失合計	15,000	44,477
税金等調整前四半期純利益	299,867	453,021
法人税、住民税及び事業税	39,501	155,199
法人税等調整額	67,835	27,253
法人税等合計	107,336	182,453
少数株主損益調整前四半期純利益	192,530	270,568
四半期純利益	192,530	270,568

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	192,530	270,568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,043	22,554
その他の包括利益合計	△1,043	22,554
四半期包括利益	191,487	293,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,487	293,122
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。